



昨年の福島地区県道沿い斜面被災



現在復旧工事を進めています

災害から命を守ろう

～令和2年7月豪雨を振り返って～

上津江
振興局
だより

No.81

令和3年6月15日発行
上津江町の人口と世帯(6/1)
[人口] 701人
[世帯数] 353世帯
[高齢化率] 50.7%
[文責] 上津江振興局長

やっぱり『早めの避難』が大事ですね

～梶原茂弘さん、カズ子さんのお話～



梶原
茂弘さん
(左)
カズ子さん
(右)
(福島)

『家の悲鳴』とともに土砂が流れ込んで

7月7日、午前5時30分頃、すごい雨音の中、家の悲鳴のような音とともに裏山から土砂が流れ込んできました。1階はすべて泥で埋まりました。扉も開かず、冷蔵庫も土砂で飛ばされていました。

あわてて「避難せな！」と思いましたが、道路も泥水で冠水していました。避難できず、夜は2晩車中泊をしました。エコノミー症候群にならないように足を動かしました。3日目から川原自治会センターに避難し、2週間くらい泊まりました。

終わりの見えない片付け作業

昼間は一生懸命泥をかき出しましたが、雨が降るとまた泥がどんどん入ってくるの繰り返し…。終わりの見えない作業に、本当に気分が落ち込みました。業者さんやボランティアの人が来てくれたときは「本当に良かった！」と思いました。

その後も2カ月位、夜は福島公民館に泊まって、昼は片付けの日々が続きました。片付けが一段落したのは10月中旬頃でした。今でもまだ細かいものの片づけは残っています。



1階部分に押し寄せた土砂

今でも「大雨」と聞くと心配です

今でも『大雨』や『線状降水帯』と聞くと心配で寝られません。テレビや気象レーダーをずっとチェックしてしまいます。

福島は高い山もないし、安全だと思っていました。やっぱりもう『早めの避難』が大事だと思います。

周りへの『避難の声かけ』をしよう

～宇都宮元士さん、タカ子さんのお話～



宇都宮
タカ子さん
(左)
元士さん
(右)

(福島)

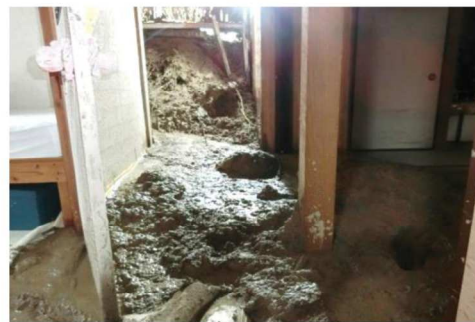
大きな石が玄関を突き破ってきた

7月7日午前5時頃、車が飛び込んだような音が出て、大きな石が玄関を突き破りました。玄関の欄間からも光が入らないくらい土砂が来ていて、寝室のドアの少しの隙間からようやく部屋の外に出ました。

それから水と土砂がどんどん入って来て、停電で真っ暗になり、恐怖でいっぱいなのに消防団員2人が「逃げるよ！」と来てくれて、やっと我に返りました。2人の手際良さには本当に感心しました。約2週間川原自治会センターに泊まりました。

なかなか進まない復旧作業

昼間は毎日土砂を片付けましたが、泥が粘土質でスコップを入れても外れない、板を渡そうとしてもめ



玄関側から廊下に入ってきた土砂

り込んでしまう、本当に作業が進みませんでした。社協や行政など色々な方々の支援でここまで復旧でき、本当に良かったと思っています。

周りの人も一緒に避難しよう

今も大雨が降ると眠れません。先日は夜中雨の音が気になって避難の準備をし、ずっと起きていました。

今度避難するときは、周りの人に声かけをして一緒に避難したいと思います。昨年隣の家と一緒に避難しましたが、近くの一人暮らしの方は被害はなくても周りの家が避難していなくなり、ものすごく不安で寂しかったと話していました。避難するときは、火や水を使わない食べ物の準備も大事です。

土砂災害に備えましょう

1 日頃から ～避難場所を決めておく～

上津江地域はほとんどが危険な区域です。日頃から**避難場所**(避難所、知人宅等)を決めて、**避難用品**も準備しておきましょう。

2 警戒レベル1～2 ～情報を収集しよう～

雨が降りだしたらテレビ等の**気象情報に注意**しましょう。また、近くの人や親戚等に気象情報や避難の有無等を尋ねてみましょう。

3 警戒レベル3～4 ～早めの避難～

大雨が予想されるときは、明るいうちに『**早めに避難**』しましょう。津江地域では『**周りの声かけ**』が避難行動に結びついています。避難するときは班長に連絡し、お互いに声をかけ合ひましょう。

避難するときは

1 避難用品を持っていきましょう

(例)・非常食 ・飲料水
・現金 ・防災ラジオ、予備電池
・マスク ・防寒具(毛布等) など

2 ガスの元栓を閉めましょう

※指定避難所には間仕切りやダンボールベッドを準備していますが、数に限りがあります。
(高齢者や体の不自由な方優先です)

【指定避難所】上津江体育館、雉谷消防詰所
川原自治会センター

令和3年5月20日から

避難情報が変更になっています

警戒レベル1	早期注意情報
警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意報
警戒レベル3	高齢者等避難
警戒レベル4	避難指示

集落
支援員
紹介

新しい集落支援員の「川村美保」です



6月4日から上津江地区の集落支援員をさせていただくことになりました。南雉谷の川村美保です。

看護師としてずっと働いてきましたが、集落支援員として医療とはまた違った手助けができればと思い、応募しました。

初めから大きな事はできませんが、まずは集落を隅々までまわり、地域の方々のたくさんの声を聞かせて頂ければと思っています。

また住民自治組織の方々と連携を取りながら解決していければと思っています。小さな事でも構いません。気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。

■連絡先 080-8391-5032

《集落支援員とは》

集落の現状を把握し、高齢者等の見守りを行いながら、地域の課題の解決に取り組みます。

第2回 地域おこし協力隊だより



作付で 地域貢献

毛利 一樹



出荷シーズンになりました

雉谷地区の耕作放棄地対策を行っている協力隊の毛利です。今年の活動で3年目に突入しました。今行っている活動は、水稻栽培の実施とキャベツ栽培、有害鳥獣対策などです。

水稻栽培の実施では今年5件分の作付を行い、面積は合計で1町5反程になりました。地域の高齢化が進み、自分で作付をしたくてもできない人が増えています。そういった人の代わりに自分が少しでも作付を行い、耕作放棄地がなくなれば嬉しいと思っています。場所が悪く、水の便が悪い場所も多いですが、効率よく作業を行い、できるだけ沢山の作付を行い、地域に貢献していきたいです。

キャベツ栽培は今年で2回目の作付になります。1反程の畑に約2500株のキャベツを栽培しています。前回はあまり上手くいかない部分が多かったのが今年は前回よりもいい物を作り、少しでも多くの人に上津江の美味しい野菜を食べて欲しいです。耕作放棄地の課題は沢山ありますが、上津江のお米や野菜が美味しいと言ってもらえると嬉しいのでこれからも頑張っていきたいです。

春の叙勲

国家や公共のために功績のあった人に贈られる春の叙勲が発表されました。

旭日小綬章 地方自治功労



元日田市議会議員

嶋崎健二さん
(葛)

瑞宝単光章 消防功労



元日田市消防団
副団長

竹村盛男さん
(片仁田)

行政相談委員感謝状贈呈

大分行政監視行政相談センターから行政相談委員に感謝状が贈られました。

武原文子さん
(都留)



「多くの方の支えて2年間務めることができました。皆様に感謝申し上げます。引き続き委員を引き受けることになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします」

こんなことで困っていませんか？

《行政相談 相談事例》

- ・水路に柵がなくて危ない
- ・大雨のとき堤防が決壊しそう
- ・白線が消えかかっている
- ・ポストの取集時間が見えにくい
- ・公園のブランコが壊れている

丑年生まれのパンリレー

年男・年女の方に書くことを書いてもらうコーナーです。丑年の皆さん、原稿お待ちしております！

杉の木

西雑谷 伊東 資郎さん

この丑年パンリレーを書くにあたって、たくさんの事を思い出しています。

津江で生活をはじめて、23年が経ち、2人の子どもが生まれ、長男は高校生になりました。自分が父親になったんだとあらためて考えました。今年、自分の父が亡くなり、父親の偉大さを痛感させられています。

自分は物事をあまり深く考える方ではないのですが、わが子や津江の子ども達と接する中でいろいろな事を考えます。生きて行く上で、紆余曲折して進んで行くと思います。杉の木が空に向かって、直線に伸びるように、自分の心の声を信じて前を向いて進んでください。そして、津江の事をたくさんピーアールしてもらいたいです。

人生100年と言います。自分の父親のように大きな背中では語って行きたいと思っています。これからも津江でいろいろな方達と会いたいです。家族共々よろしくお願いします。



将来の夢

葛 奥村 佳苗さん

私の将来の夢は、パティシエになってカフェを開く事です。理由は3つあって、1つ目はおかし作りが好きで、上手にできた時も失敗した時も家族が食べてくれるのがうれしいからです。

2つ目は、パティシエがすごいと思ったからです。パティシエは、自分でレシピを考えて作れたり、毎回同じ物を作れるのがすごいと思いました。

3つ目は、前に母と行ったカフェがかわいかったし、料理やデザートがとてもおいしかったから、私もこんなカフェを開きたい、と思った事です。いつかパティシエになってみんながもう一度来たいと思うようなカフェを開けるように、今は、いろんなおかしを作って、できるだけたくさんのレシピを覚えたいです。パティシエになったら、アレルギーなどがある人でも食べれるようなおかしをたくさん作りたいです。



防災ラジオは準備できていますか？

防災ラジオは、降雨時等で屋外の防災無線放送が聞き取りにくい場合や、停電時にも乾電池のみで市からの放送を聞くことができます。

停電時には電池の消耗が速いので、予備の電池を準備しておきましょう。

上津江振興局でも単3電池を販売しています(1本55円)。



■問合せ 総務振興係(55-2011)

《九州電力送配電からのお知らせ》

停電状況や復旧見込みを自動音声でお答えします。

【停電情報自動応答専用ダイヤル】
0120-426-306



九州電力送配電の停電情報をご案内します。停電情報を確認したいご住所を県から番地までおっしゃってください。

大分県日田市上津江町川原〇〇番地



現在、大分県日田市上津江町川原で停電が発生しております。復旧見込みは〇月〇日の△△頃の見込みです。復旧までしばらくお待ちください。

※停電情報などをメールでお届けするサービスもあります。